

2024年11月度の観察記録

カテゴリ : 2024年

_MD_POSTEDON投稿者: [Zz.admin](#) 掲載日: 2024-11-10

2024年11月度の観察記録です。

```
Untitled Page .auto-style1 { text-align: right; } var gaJsHost = (("https:"  
== document.location.protocol) ? "https://ssl." : "http://www.");  
document.write(unescape("%3Cscript src='" + gaJsHost + "google-analytics.com/ga.js'  
type='text/javascript'%3E%3C/script%3E")); var pageTracker =  
_gat._getTracker("UA-3205823-1"); pageTracker._initData(); pageTracker._trackPageview();
```

2024年?11月?10日(日)9:30~12:00 作成: 田畑恭子 監修: 瀧川正子
写真協力: 伊藤義人氏

参加者: 大人?18名, 子ども?9名 天気: 曇り 屋外で過ごすのにちょうどいい気候になりました。里山の家の前道路には、東山動植物園に向かう車の長い列ができていました。くらしの森にも多くの家族連れが訪れる中、いつも以上に子どもの参加者の多い自然観察会となりました。最初
にカエル池の近くのマサキを観察しました。毎年この時期のこのマサキでは、たくさんのミノウスバが産卵に訪れる様子を見てきました。ミノウスバは昼行性のガの仲間です。しかし今年例年のように群がるように集まることはなく、かろうじて産卵中のメス一頭とその近くにとまっているオスを確認できたただけでした。よく見るとマサキには花が咲いていました。マサキの花を観察するのは6月が多いのですが、今年は夏の猛暑の影響なのか、この秋の温かさのせい、季節を間違えてしまったようです。





産卵中のミノウスバ ミノウスバのオス マサキの花 そのほか色づいたカラスウリの実やツチイナゴが見つかりました。葉の上でワカバグモがハエの仲間を捕食していました。

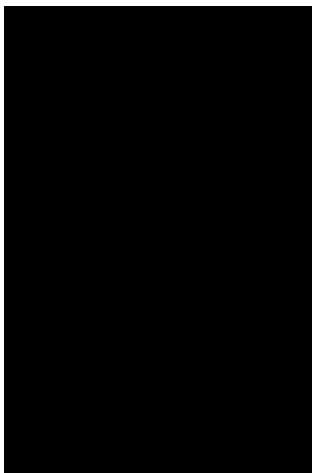


カラスウリ ツチイナゴ ハエの仲間を捕食するワカバグモ 先月も観察した大量に糞をつけた
オオナモミが熟していました。子どもたちが実を手にとって、洋服や帽子につけたり、投げたりして遊んでいました。一人の参加者がエノキの葉の表にアカボシゴマダラの幼虫を見つけたと聞いて、どこにいるかみんなで探しました。葉の色とよく似ていて、見つけるのに時間がかかりました。よく探すと別の葉にも同じくらいの大きさの幼虫がいました。



オオナモミで遊ぶ アカボシゴマダラの幼虫 中道沿いのキノコの大きな株が目を引きました。
。オオワライタケと言いつ毒があるそうです。





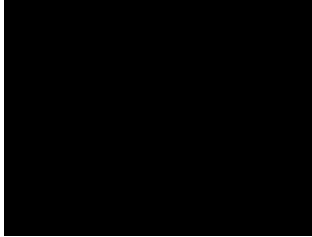
オオワライタケ 炭焼き広場の乗倒木たちがはしゃいでいました。小さな崖ですが、子どもたちの冒険心をくすぐる要素は備えているようです。ユキヤナギに白いものがついていました。一見花が咲いているように見えたが、花ではなくイセリアカイガラムシでした。また、ガガイモが巻きついて実がなっていました。



崖で遊ぶ子どもたち イセリアカイガラムシ ガガイモの実 炭焼区場には今年も
ドングリがなっていました。このドングリは去年初めてなっているのに気づいたものです。中道で
はコナラのドングリも観察しました。先月はアベマキのドングリが大量に落ちていましたが、この
日は地面に落ちたドングリから根が出ているものや、根がある程度長く伸びたあと、その根の付け
根から芽が出始めているものが見つかりました。



ウメガシのドングリ コナラのドングリ 芽が出たアベマキのドングリ この森で食べられる木
の実のうち、美味しさで1, 2を争うと言われるのがシャシャンボです。ちょうどいい具合に熟す
時期が来ていて、みんなで食べました。子どもたちも「甘い」、美味しい、「ちょっとすっぱい
」など口々に感想を言い合いました。そこへシラタマホシクサの枯れた花を取ってきた参加者がい
ました。調べると花の付け根には硬いごく小さな種があり、注意深く取り出しました。家で発芽さ
せても、なかなかうまく育たないそうです。



シャシャンボ シラタマホシクサの種
いているのを見に行きました。アキノキリンソウはくらしの森では数が少なく、ここでだけ見られるとのことでした。

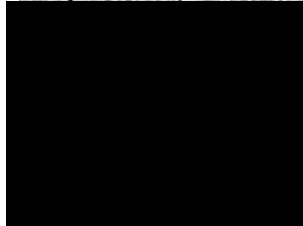
久しぶりにキラニン道路を上ってアキノキリンソウが咲





ネズミサシ マメガキ アカマツ この日はたくさんのドングリを観察しましたが、展望広場の近くにはスダジイの木があり、殻斗を伴ったドングリがいくつも落ちていました。スダジイは小さいながらもそのままでも食べられるドングリとして知られ、硬い殻を歯で割って食べてみて「美味しい」と言う参加者もいました。最後にこの日拾ったいろいろなドングリを並べてみました (左からアベマキ、スダジイ、ウバメガシ、アラカシ、コナラ)。

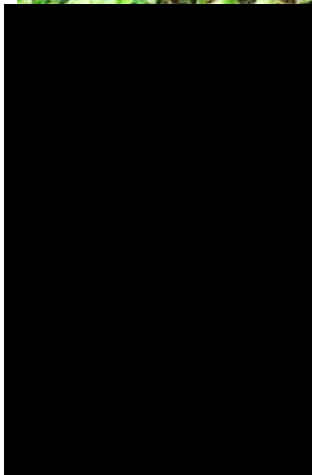
(左から



スダジイのドングリ ドングリのいろいろ

帰り道では中道の脇のウマノスズクサが保護されて

いるのを見ました。ウマノスズクサはジャコウアゲハの食草ですが、数が少ないため草刈りの時に刈り取られてしまわないように目立たせてありました。



ウマノスズクサの保護

この日のアクシデントは、参加者の男の子がムカデに噛まれたことで、とても心配しました。観察会の終了時点では強い症状は出ていないようでしたがその後の経過が気になります。来月は芋煮会ですが、肝を冷やすような出来事が起きないことを願います。

平和公園での観察項目：ジョロウグモ, マサキ, ミノウスバ, ツチイナゴ, ワカバグモ, カラスウリ, オオオナモミ, キンミズヒキ, イセノナミマイマイ, タラヨウ, アカボシゴマダラの幼虫, オオウライタケ, アベマキのドングリ, アキニレ, ウバメガシ, ユキヤナギ, イセリアカイガラムシ, ガガイモの実, コナラ, シャシャンボ, シラタマホシクサの種, アキノキリンソウ, ネズミサシ?, ノコンギク, ネジキ, マメガキ, センリョウ, アカマツ, コカマキリ, スダジイ, アラカシ, ウマノスズクサ, ジョウビタキの声?